



すぎこ 杉っ子

令和7年6月 5日 発行
学校だより 第3号
射水市立小杉小学校
TEL 0766-55-1055
E-mail kosugi-e@imizu.ed.jp

「たくましく生きる力」を育てる

校長 杉 高 浩

青葉を渡るすがすがしい風にのせ、子供たちの元気な声が学校に響き渡る小杉小学校です。令和7年度も2か月が過ぎました。子供たちは新たな学年での生活を軌道に乗せ、目標に向かって様々な取組を進めています。

さて、コロナ禍の令和2年度よりスタートした新学習指導要領に基づきながら、日々の学校教育を展開しているところです。学習指導要領とは、全国どこの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めているカリ

キュラム(学習内容な計画)の基準のことです。これからの時代、グローバル化人工知能・AI等の技術革新が急速に進む一方、少子高齢化や地球温暖化等の問題もあり、いっそう予測困難な時代になると言われています。そのような中、子供たちは自ら課題を見付け、自ら学び、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力(たくましく生きる力)が求められます。子供たち一人ひとりが、社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、充実した学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもつこと、さらに子供たちが、積極的に社会や世界に向き合い関わり合うことで、自分の人生を切り拓いていく資質や能力を伸ばすことが重要です。つまり、受け身ではなく、進んで考え行動できる力が必要になります。射水市の教育理念でもある、「たくましく生きる力」を身に付けた子供たちの育成に日々取り組んでいかなければなりません。

新学習指導要領では、育成を目指す3つの柱(資質・能力)「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を身に付けるために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。そこで、本校では今年度、県の「令和とやま型教育推進事業」の指定を受けていることから、「考えを伝え合い、対話を通して学ぶ子供の育成」を研究のテーマに掲げ、対話を通して自己調整しながら学ぶことができるように授業改善に努めていきます。

本校では、3つの柱のうち「思考力、判断力、表現力等」が学習活動を推進していくエンジンの役割、学習の方向性を決める舵的な役割を担っていると捉えています。何よりもそのエンジンを動かすエネルギーとなるものが、「学びに向かう力、人間性等」に含まれる『学ぶことの楽しさ』だと考えます。学ぶことの楽しさは一朝一夕に生まれてくるものではありません。日々の課題を追究する活動の中で、分かった、できた、やってよかったという達成感をもち、自己肯定感が高まることで生まれてくるものです。そこで、本校では、子供たちに学ぶことの楽しさを育ていくため、課題解決に向けた単元構想の工夫やICT活用の工夫を柱にした授業改善を図っていかなければならないと思っています。併せて、幼保小の円滑な接続、プログラミング教育、言語能力の育成、人権教育、ふるさと教育等の充実も行っていきたいと思いますので、ご理解とご支援を賜りますことをお願いします。



心を燃やして 熱く闘った 杉っ子スポーツフェスタ



今年も校舎2階の窓ガラスに「輝け 杉っ子 心を燃やして 熱く闘え!!」のスローガンが掲示され、一人一人がそれを心に誓い、目当てをもってスポーツフェスタに臨みました。

スポーツフェスタ前日の天気予報では、お昼前から雨模様の予報が出ていたので、当日はプログラムを入れ替え、団体競技からスタートしました。

開会式の元気な選手宣誓で始まり、各色団の「杉っ子ウェーブ」では、5、6年生が心を一つにして元気ですてきな演技が披露されました。

3、4年生の「巻き起こせ 杉っ子旋風!」、1、2年生の「おどって、なげて、チェッコリ玉入れ」、そして5、6年生の「全力! 綱引き つながってGO!」の団体競技が行われました。その後3、4年生による団体演技「杉っ子ソーラン2025」です。今年も4年生から3年生に踊りが受け継がれ、迫力あるかけ声とダイナミックな演技が披露されました。どの競技も総合優勝を目指して、熱い戦いが繰り広げられました。個走の後、今年度は6年ぶりに復活した色団対抗選手リレーです。流石、各色団を代表する選手、限られた練習時間の中で、スムーズなバトンパスを身に付け力強い走りがとても素晴らしく感動しました。

今年度の総合優勝は赤団、杉っ子ウェーブのグランプリは黄団でした。スローガンにあるよう、多くの杉っ子がキラキラ輝き、そして団結力をフルに発揮した素晴らしいスポーツフェスタとなりました。ご協力いただきました、PTA 役員の皆様、そして子供たちの競技や演技に心からの声援を送っていただきました来賓、保護者・地域の方々に改めて感謝を申し上げます。



5年生が田植え体験をしました

5月20日(火)に JA いみず野、ファームひばり、学校運営協議会のご協力の下、5年生が田植え体験を行いました。子供たちは3~5本の苗をとり、丁寧に植えていました。学校運営協議会の川腰会長さん、森永副会長さんも子供たちと一緒に田んぼに入って苗を植えてくださいました。

また、あおい幼稚園の園児さん達も田植えの終わった田んぼをみんなで見にきてくれました。

